

インフラ事業の進捗は

調査、要望をしている



山崎 泰昌 議員
(政 和 会)

問 信号機や標識、案内板は順調に整備されているか。

佐藤町長 宮古警察署では第7分団屯所付近の交通量を調査し、再度、県警本部に上申する考えである。

問 細浦の山高の上がり口や織笠大橋のたもとにも同時に申請していくよう働きかけるべきでは。

建設課長 織笠・外山線と国道との交差点、織笠大橋のところの織笠南側線との交差点なども要望をしている。

問 長林や田の浜などの高台団地への経路が分かりにくい、いづころ調査を始めるのか。

建設課長 現場を調査しており、具体的な設置箇

所等について検討を進めている。
問 町道織笠・外山線の拡幅改良工事と田の浜地区低部道路の新設は進んでいるか。

查を行う。田の浜地区は本年度に概略設計を行う。
問 田の浜地区の道路はどのようなルートか。
建設課長 前須賀・タブの木荘線と寺家口線との交差点付近から前の漁村センター付近を通り、わかき線に接続する。



整備中の寺家口線（写真左側）と前須賀・タブの木荘線（写真中央）

観光拠点の位置づけは

3つの拠点を考えている

問 新たな観光拠点はもとより町内経済の維持、発展の構想は。

問 鯨館も観光のツールだと考えている。町民有志により展示物の英文表記が可能になると聞いたが町は取り組まないのか。

町長 山田インターから山田南インターまでは8分の通行時間で、国道45号を使えば11分かかる。北浜の新たな拠点と町中心地、道の駅やまだを巡ってもらえるような施策を考える。

野口水産商工課長 教育委員会も提示を受けており、それを活用して事業を進める。

新規の水産物養殖とは

アサリの試験養殖を

問 新たな養殖種目の導入を検討しているのか。
町長 三陸やまだ漁協で本年度よりアサリの試験養殖を開始する。町はいかだや資材の整備に対する支援を行っており、漁業所得の向上を図る。

水産商工課長 町独自の専門の職員がいないので、水産団体や県と連携しながら進めていく。

問 つくり育てる漁業の再生事業に町が積極的に